

GDPRコンプライアンスに必要な ファイル転送機能

一般データ保護規則（General Data Protection Regulation、GDPR）には、個人データの収集と処理において個人の権利が守られることを保証する7つのデータ保護の原則が含まれています。

「処理」に該当するファイル転送システムは、
コンプライアンスのために以下の機能を提供する必要があります。



7つのGDPRデータ保護の原則

1: 正当で、規則に準じた、 明確なプロセス

アクティビティ処理を設計し、実装する際に、より行き届いた注意が必要。

2: 目的の限定

1つの目的のために収集された個人データは、新しい互換性のない目的のためには使用しない。

3: 必要な最小限データ

目的を達成するために必要な個人データ処理のみを行う。

4: 正確性

個人データが正確であることを確認するための合理的な措置を講ずる。

5: 保管制限

個人データは、使用目的に必要な期間以上に長く保持しない。

6: 完全性と機密性

個人データが組織内外での処理、偶発的な損失、破壊、損害に対して安全であることを保証。

7: 説明責任

データ保護原則を遵守していることを明示する。

GDPRで要求されるファイル転送機能



- ✓ 否認防止機能
- ✓ 集中管理された詳細なアクセスコントロール
- ✓ タスクベースのファイル転送
- ✓ 包括的な分析機能
- ✓ 自動ファイル整合性チェック
- ✓ 一定時間経過後の個人データ削除
- ✓ 転送中および保存中の個人データの暗号化
- ✓ データ損失防止およびアンチウィルスとの統合
- ✓ すべてのデータ転送活動の監査証跡を収集
- ✓ 不正開封防止監査ログ



GDPRコンプライアンスのために、リスクが最も低く、コスト効率の高いオプションは、
イプスイッチの MOVEitのようなマネージド・ファイル・トランスファー・ソリューションです。

MOVEitは、統合された集中管理データ転送ソリューションです。セキュアなデータ転送に、集中管理されたワークフロー、アクセスコントロール、監査ログ収集を統合します。個人データ処理に伴うリスクが低減されます。

▶ 詳細はホワイトペーパー「ファイル転送とGDPR」をお読みください ◀